

那加三だより

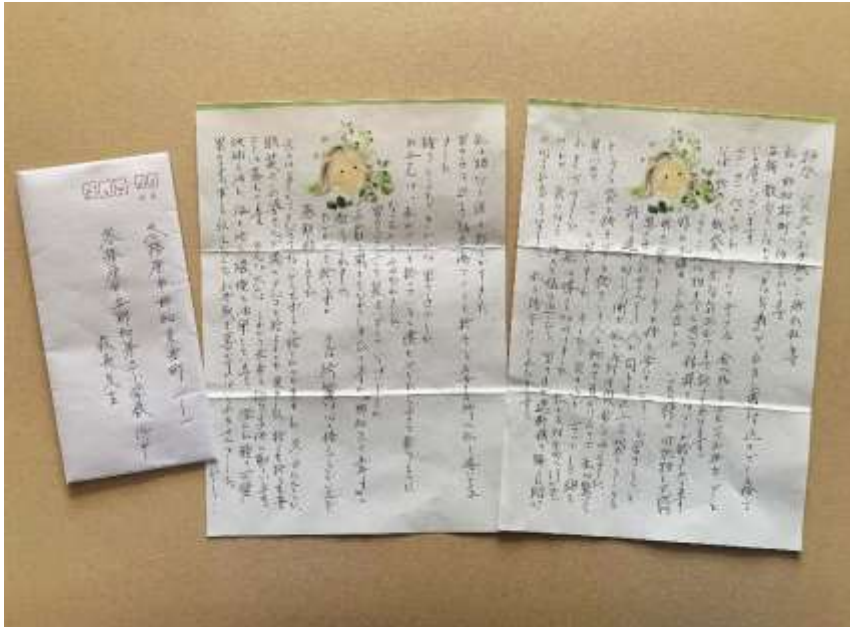
那加第三小学校
学校だより
R5. 2. 24



学校の教育目標 「かしこく ゆたかに たくましく」

←学校ホームページで、子ども達の姿をご覧ください <http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

地域の方からのお手紙 ～きれいな心の知らせ～



地域の方がお手紙を持って学校に来ていただけました。那加三の子のよい行ないを見つけてくださり、お知らせいただいたとても嬉しい手紙でした。

お手紙をくださった方は、散歩をしながら学びの森や、市民公園付近のゴミを拾ってみえるすばらしい方でした。普段よりゴミが捨てられていることや、その種類の多さに心を痛めてみえたので、ご自分でも拾おうとされたそうです。その方が出会ったのが、那加三小の子とそのお母さんでした。一部を紹介します。

土曜日お昼近くに、いつもの様に可燃物と不燃物用の袋と、トングを持ち歩いていたら、小学生くらいの男の子とお母さんらしい人が、同じように2つの袋とトングをもって道の向こう側を、私と反対方向に歩いてみえました。

トングと袋を持ってゴミを拾っている人を初めて見かけたので、私は驚いて見つめてニコッと笑いました。そしたら男の子がニコツとして、頭を小さく下げました。私は嬉しくなりました。

私と反対方向に行かれたけれど、気になって後ろを振り返ったら、男の子が遮断機の降りた踏切の向こうに立っていました。私を待っていてくれたのです。私は踏切を渡って話しかけました。

男の子は近くの駐車場でゴミを拾っているお母さんの所へ私を導いてくれました。

瞳のとってもきれいな男の子でした。

お母さんは、「私がゴミを拾っていると僕もやりたいと言って拾うようになった」と言われました。男の子の2つの袋はゴミでいっぱいでした。名前を聞きそびれてしまったのですが、『那加三小』と教えてくれました。

たかがゴミ拾いですが、そんな綺麗な心を持った子がいるんだと、感動いたしました。

このお手紙を読んで、本当に心が温くなりました。

那加三小には、なんてすばらしい心をもった子がいたのか、なんてすばらしい親子関係があるのか、なんてすばらしい地域の方が見守ってくださるのか、何度も読み返しました。

このお手紙には、地域の方の温かさ、お母さんと子どもたちの信頼関係、ボランティアを大切にできる子どもの純粋な心など、とても多くのすばらしさあるエピソードであります。

きっとこの姿は那加三の子どもたちのひとつの姿であり、私たちが知らないだけで、子どもたちのよい姿は地域に多くあるのだと思いました。ゴミ拾いをしてくれた子、お母さん、お知らせくださった地域の方、本当にありがとうございます。皆の心が温くなりました。

(文責 校長 加藤浩幸)